

は じ め に



読むこと、話すこと、書くこと。この3つの力がそろっていることは、生きていく上でとても大切なことです。文字を書くこと、自分の思いや伝えたいことを言葉で表現することのすばらしさ、そして大切さを『ひらがなにつき』は私たちに教えてくれます。

はじめに

ひらがなにつき



- 若一の絵本制作実行委員会 文
 - 長野 ヒデ子 絵
- 解放出版社／2008年／1995円(1900円＋税)

幼い頃、学校に通えなかった吉田一子さんは、60歳を過ぎてから読み書きを学び始めました。文字を知らないために苦労した吉田さんが、徐々に文字を獲得していく様子が、伸びやかな文章と明るい色調の絵で描かれています。文字を身に付けることの素晴らしさに、改めて気づかされる絵本です。

文字の大切さ

絵本

総ページ
36ページ

対象
小学校中学年から

コラム

「ことばのブックリスト ことばこ」は、『ひらがなにつき』に始まり『宮城県気仙沼発！ファイト新聞』までの全95タイトルの本をまとめた小冊子です。未曾有の大震災に見舞われたこの年に作り始めたブックリストでは、日本語という言葉について私たちに様々なことを教えてくれる本と、美しい言葉、楽しい言葉の結晶である数々の詩と歌をたくさん収めた本を紹介しています。言葉の力と可能性を教えてくれる本を集めようと思いながら、選書していきました。

中学生の皆さんには、「やさしい内容」と思われる本が、幾分多いかもしれません。

しかし、言葉の知識として国語の授業で習うことが、実は絵本のなかにもたくさん取り上げられていることに気づいて欲しいと思います。そういった本も選んでいます。絵と言葉を両方楽しみながら、言葉の魅力と可能性を発見してもらいたいです。